

第22章 浄禅寺跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

浄禅寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禅寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12～14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禅寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禅寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は市街化が進み、残された畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

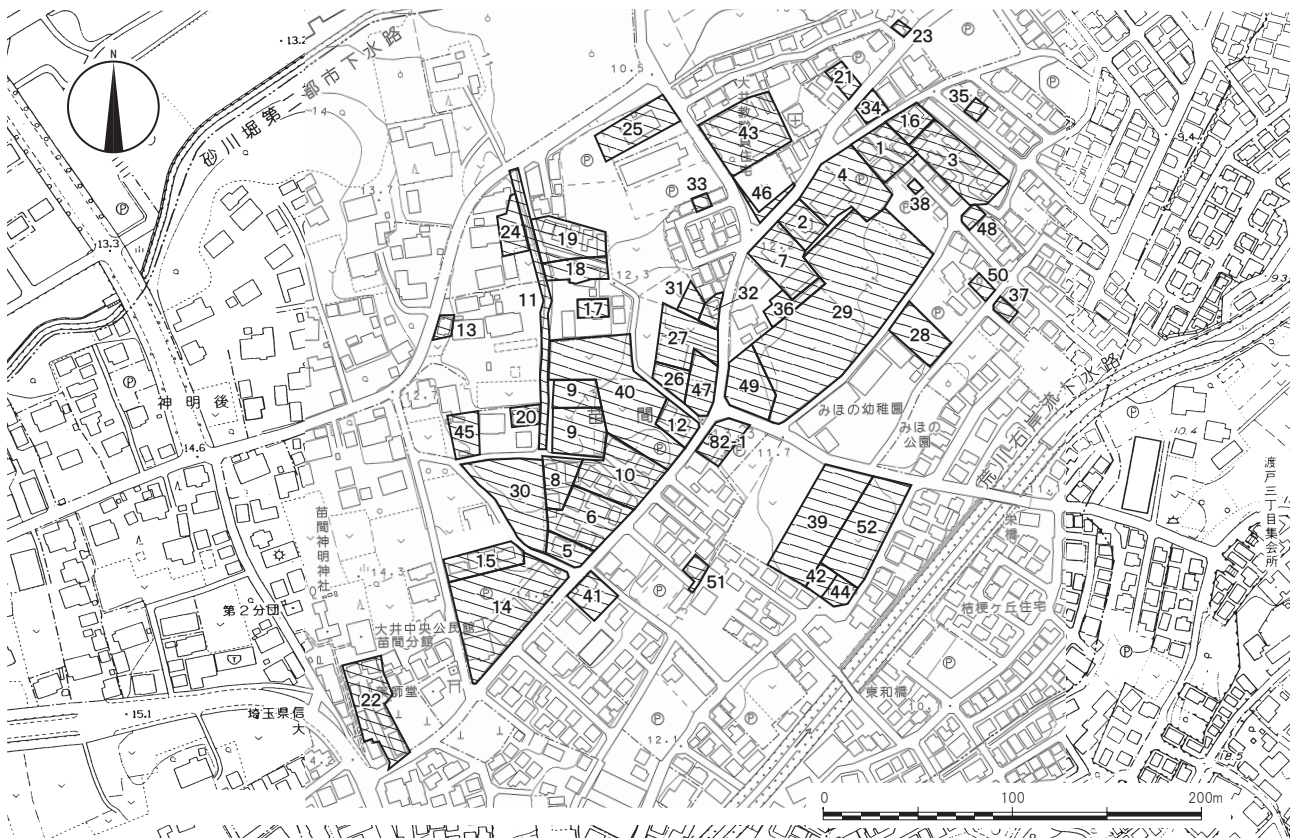
2019年4月現在52地点で試掘調査及び発掘調査を行い、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中期住居跡4軒、中・近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禅寺墓域から土壇墓157基、一字一石経約76,000点が出土している。浄禅寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

II 浄禅寺跡遺跡第42地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2016年4月8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約70cmである。



第118図 浄禅寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第 66 表 浄禅寺跡遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間東久保 579	1979.4.3 ~ 21	605	共同住宅	苗間東久保 1 地点として報告済み炉穴 10、土坑 14、縄文早期後半・中期	東部 I
2	苗間東久保 573	1982.4.1 ~ 3	396	共同住宅	苗間東久保 7 地点として報告済み遺構なし、磨耗縄文土器	東部 III
82-1		1982.4.2 ~ 9			旧苗間東久保遺跡第 8 地点、遺構遺物なし	東部 IV
3	苗間東久保 581	1984.7.20 ~ 21	320	共同住宅	苗間東久保 12 地点を浄禅寺 3 地点とする遺構なし、縄文中期末	未報告
4	苗間神明後 346-1	1989.11.15 ~ 25	150	開発予定地	炉穴 10、土坑 7、ビット 14、縄文早期後半・前・中期	東部 X
5	苗間 374-9	1991.8.28 ~ 9.3	100	個人住宅	遺構なし、縄文前期・中期土器片	町内 I
6	苗間 358-1	1991.9.21 ~ 12.26	826	個人住宅	遺構遺物なし	町内 I
7	苗間東久保 573-4	1992.10.20 ~ 11.20	831	共同住宅	炉穴 8、井戸 3、堀 3、縄文草〜中期	大調 5
8	苗間 357-1	(1994.9.20 ~ 27)	615	宅地分譲	落とし穴、根切溝	大調 IV
9	苗間 353	(1994.10.18) 2007.5.22 ~ 24	1,266	農地改良	土坑、溝、縄文土器、磁器	大調 IV、市内 4
10	苗間 356-1	1994.10.31 ~ 11.2	999	宅地分譲	近世土壇墓、一石経埋納土坑、六道銭、江戸中後期	大調 12
11	苗間 352-1 他	(1995.1.9 ~ 2.3)	572	道路	湧水口	町内 IV
12	苗間 35-95	1995.9.25 ~ 10.21	140	個人住宅	屋外炉、遺物集中 3、ビット 16、溝 5、縄文中期土器、磁器	町内 V
13	苗間 314-2	(1996.1.8 ~ 29)	101	個人住宅	土坑 13、ビット 11、井戸 1、溝 2、縄文早〜後期、陶磁器	町内 V
14	苗間 360-1,362-2	(1996.6.3 ~ 12) 1996.6.18 ~ 7.11	2,178	個人住宅	礫群 3、落とし穴 1、溝 4、ビット 251、旧石器、縄文土器、陶磁器片	町内 VI
15	苗間 362-4・5	(1996.6.3 ~ 12) 1996.7.12 ~ 8.2	494	分譲住宅	炉穴 7	町内 VI
16	苗間 579-1	1997.11.10 ~ 12.19	291	個人住宅	縄文住居 1、炉穴 14、ビット 61、土坑 16、溝 4、縄文早期後半、前期、中期	町内 VII
17	苗間 345-2・10	(1998.9.29 ~ 10.2)	877	個人住宅	遺構なし、縄文早期後半、中期後半	町内 VIII
18	苗間 345-3・4	(1999.5.26 ~ 6.24) 1999.6.26 ~ 8.3	599	個人住宅	炉穴 8、集石土坑 3、土坑 13、ビット 27、溝、縄文後期土器、土師器	町内 IX
19	苗間神明後 345-4	1999.8.28 ~ 9.14	703	分譲住宅	炉穴 1、集石 2、焼土痕 4、土坑 22、井戸 2、溝 8、掘立 5、縄文早〜晩期土器、石器、中近世陶磁器、板碑	大調 15
20	苗間神明後 351-1	(2001.10.26 ~ 29)	223	倉庫	遺構なし、近世磁器	町内 XI
21	苗間東久保 591-3、592-7	(2001.11.19 ~ 20)	182	個人住宅	遺構遺物なし	町内 XI
22	苗間 373-5・8、377-5・3・4	(2002.4.23 ~ 5.14)	935	分譲住宅	土坑 1、ビット 4、溝、遺物なし	町内 XII
23	苗間 592-1	(2003.4.28)	100	個人住宅	ビット 2、溝、遺物なし	町内 XII
24	苗間神明後 346-1・2 の一部	(2004.8.30 ~ 31)	391	個人住宅	遺構遺物なし	町内 XII
25	苗間 339-1・2 苗間神明後 338-8、339-2	(2004.9.22 ~ 10.12) (2012.6.27)	721 844.8	共同住宅 個人住宅	ビット 2 遺構遺物なし	町内 XII 市内 14
26	苗間神明後 354-2 の一部	(2005.3.3 ~ 8) 2006.4.17 ~ 28、6.7 ~ 15	216	分譲住宅	炉穴 10、土坑 8、ビット 21、溝 1、縄文中期片	市内 3
27	苗間神明後 354-2	(2005.12.1 ~ 2006.1.22) 2006.1.23 ~ 2.23	696	道路・分譲住宅	住居跡 1、炉穴 15、埋塞 2、土坑 117、ビット 127、溝 1	市内 2
28	苗間字東久保 719-7、720-1	(2007.1.23)	2,478	園舎改築	溝 2	市内 3
29	苗間 570-1・2、571-1・2、575	(2007.8.7 ~ 9.21) 2007.9.25 ~ 11.6	4,920	分譲住宅	掘立柱建物跡 3、井戸 15、土坑 15、堀跡 1、溝 17、陶磁器・板碑他	市内 4
30	苗間 359-1	(2007.9.14 ~ 10.9) 2007.10.9 ~ 11.2	1,298	分譲住宅	茶毘跡 5、木炭窯 1、土坑 15、溝 2、陶磁器・板碑他	市内 4
31	苗間字神明後 342-14 の一部	(2007.2.19) 2007.2.19 ~ 3.5	171	個人住宅	住居跡 1、炉穴 1、土坑 1、ビット 26、縄文土器・石器	市内 4
32	苗間字神明後 340-17,342-10・15	(2007.2.25 ~ 3.4)	188	個人住宅	堀跡 1、ビット 1、縄文土器	市内 4
33	苗間字神明後 340-21	(2010.8.6)	76	個人住宅	土坑 1	市内 10
34	苗間字東久保 586-7,587-2 の一部	(2012.8.24)	160	個人住宅	遺構遺物なし	市内 14
35	苗間字東久保 582-8	(2012.4.4)	80	個人住宅	ビット 1、縄文土器片	市内 15
36	苗間字東久保 573-5	(2012.8.6 ~ 9) (2012.9.5 ~ 12)	401	宅地造成	土坑 2、ビット 14、溝 5	市内 15
37	苗間字東久保 727-17	(2012.11.21)	100.52	個人住宅	遺構遺物なし	市内 15
38	苗間東久保 578-11	(2013.5.14)	53.42	個人住宅	遺構なし、表採土器	市内 18
39	苗間 565-1	(2013.6.25 ~ 7.3)	1,709	分譲住宅	中世以降の溝、遺物なし	市内 18
40	苗間字神明後 355-1・2・12	(2015.8.19 ~ 9.30) 2015.10.1 ~ 11.9	2,308.06	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、集石土坑 3、溝 6、土坑 13、ビット 51、地下式坑 1、井戸 1、縄文土器	市内 19
41	苗間字神明前 509-1・5	(2015.12.21)	349.73	分譲住宅	土坑 1、ビット 1、土器片	市内 22
42	苗間字神明前 564-3 の一部	(2016.4.8)	132.35	分譲住宅	土坑 1、遺物なし	市内 24
43	苗間字 589-1	(2016.6.20 ~ 24)	1,402	公園	遺構なし、土器片	市内 24
44	苗間字神明前 564-5	(2016.7.1 ~ 4)	124.05	分譲住宅	溝 1、遺物なし	市内 24
45	苗間字神明後 349-3、350-4	(2016.8.18 ~ 19)	310	個人住宅	ビット 12、縄文土器、泥面子	市内 24
46	苗間 588-10	(2017.2.6)	108	道路拡幅	遺構なし、縄文土器片	市内 24
47	苗間字神明後 354-1	(2017.4.21 ~ 24) 2017.4.25 ~ 5.2	401	個人住宅	炉穴、土坑、ビット、縄文土器	市内 24
48	苗間字東久保 717-3	(2017.5.15)	103	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
49	苗間字東久保 569-1	(2017.5.22 ~ 23)	798	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 24
50	苗間字東久保 717-12	(2017.7.10)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内 24
51	苗間字神明前 510-12・13	(2018.4.26)	112.58	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
52	苗間字神明前 564-1	(2019.2.12・13)	1,186	老人ホーム・ディサービス	ビット 2、土師器、陶磁器、鉄製品	未報告



第 119 図 浄禅寺跡遺跡遺構分布図 (1/2,000)

IV 浄禅寺跡遺跡第 43 地点

(1) 調査の概要

調査は公園建設に伴うもので、原因者より 2016 年 5 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 6 月 20～24 日にかけて試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 5 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 130～150 cm である。また、旧石器時代の確認調査のため、1m 四方のトレンチを 6 ヶ所設定した。

調査の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて覆土中より出土した。詳細については第 121 図及び第 68 表に掲載した。

V 浄禅寺跡遺跡第 45 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 7 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2016 年 8 月 18～19 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1m のトレンチ 2 本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 70～80 cm である。

調査の結果、ピット 12 基を検出したが、保護層確保が可能なため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

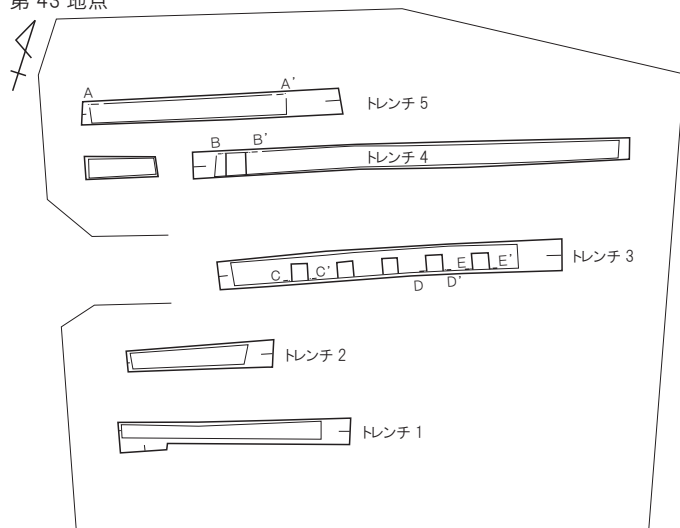
第 67 表 浄禅寺跡遺跡第 45 地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	楕円形	50×20	7×6	56.2	7	楕円形	40×26	15×12	22
2	不明	27×(24)	15×(15)	11.4	8	楕円形	(30)×25	15×9	23.3
3	三角形	25×19	14×10	14.6	9	方形	28×28	20×10	16.9
4	不明	30×(29)	17×8	17.1	10	方形	24×23	16×13	8
5	方形	23×21	13×12	8.1	11	不明	25×(20)	15×(14)	12.9
6	不明	37×22	13×10	28.6	12	方形	17×14	8×5	10.7

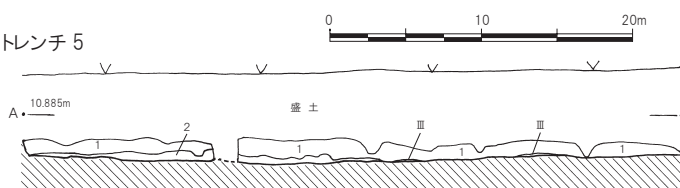
第 68 表 浄禅寺跡遺跡第 43・45 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

地点	図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・備考	時期・型式
第 43 地点	第 121 図 -1	遺構外	縄文	—	—	—	3 本単位の先端矢羽根状櫛歯状文様、内面櫛歯状文様	前期末
	第 121 図 -2		縄文・深鉢	—	—	—	地文沈線・内面炭化	—
	第 121 図 -3		縄文・深鉢	—	—	—	無文・胎土に白色粒子、僅かに雲母含む	縄文中期
	第 121 図 -4		縄文・深鉢	—	—	—	横位沈線・外面に黒斑	縄文中期
第 45 地点	第 121 図 -1		縄文・深鉢	—	—	—	地文 RL 縄文、一部磨り消しか・内面ハジケ、胎土に金雲母含む	縄文中期
	第 121 図 -2		縄文・深鉢	—	—	—	無文・胎土に砂礫を含む	—
	第 121 図 -3		縄文・深鉢	—	—	—	隆帯両脇に押引文、弧状に沈線・胎土に砂礫を含む	縄文中期
	第 121 図 -4		土製品・泥面子	2.2	2.1	0.8	芥子面 (ひよっとこ)・裏面に指頭痕あり	近世以降

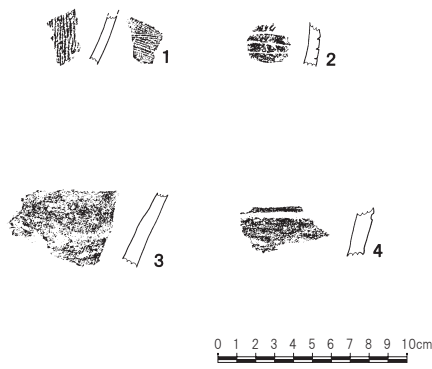
第43地点



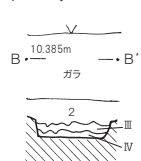
トレンチ 5



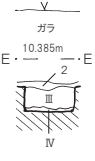
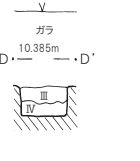
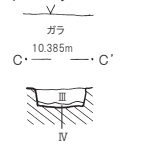
遺構外



トレンチ 4



トレンチ 3

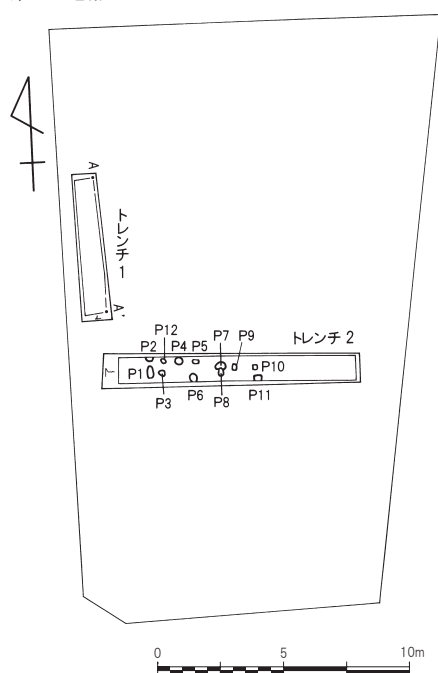


III. ソフトローム

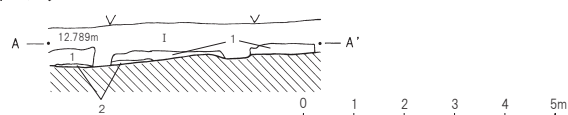
IV. ハードローム

1. 黒褐色土 粘性有、締り強、1～10mm 大ローム粒多量、1～5mm 大炭化物・1～5mm 大赤色粒微量含む
2. 黒色土 粘性有、締り強、ロームブロックを含む 耕作土

第45地点

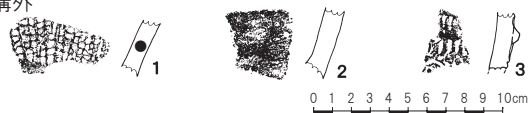


トレンチ 1

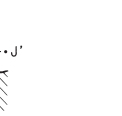
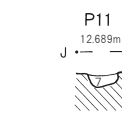
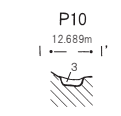
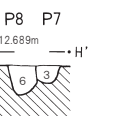
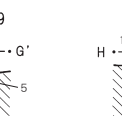
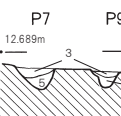
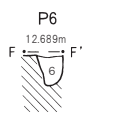
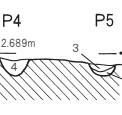
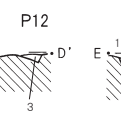
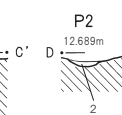
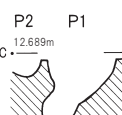
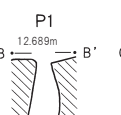
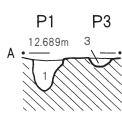
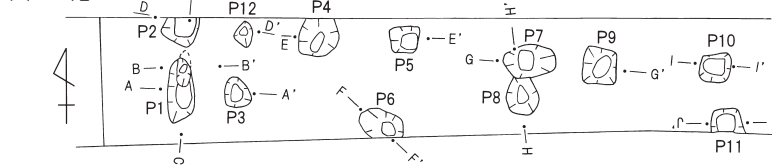


1. 暗褐色土 粘性有、締り強、1mm 以下ローム粒・白色粒微量含む (30 地点のⅢ層)
2. 暗褐色土 粘性やや強、締り強、10～20mm 大ロームをシミ状に、1～5mm 大の赤色粒・黒色粒極微量含む (30 地点のⅣ層)

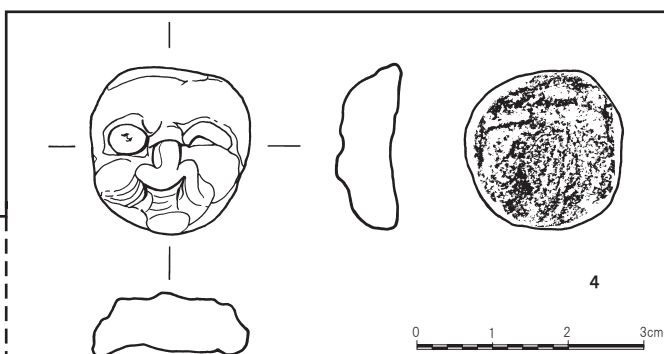
遺構外



P1～12



1. 暗褐色土 粘性有、締り強、ロームブロック微量
2. 黒色土 粘性有、締り弱、キメの粗いボソボソした土
3. 黒褐色土 粘性有、締り強、5～10mm 大ローム粒中量、5～10mm 大黒色土・ロームブロック微量含む
4. 黒褐色土 粘性弱、締り有、ロームブロック・1～5mm 大ローム粒少量含む
5. 黒褐色土 粘性有、締り有、1～10mm 大ローム粒多量含む
6. 黒褐色土 粘性強、締りやや強、1～5mm 大ローム粒中量含む
7. 黒褐色土 粘性弱、締り有、ローム粒を筋状に含む



第121図 浄禅寺跡遺跡第43地点調査区域図 (1/500)、第45地点遺構配置図 (1/300)、土層 (1/150)、ピット (1/60)、出土遺物 (1/4・1/1)

(2) 遺構と遺物

①ピット

ピットはトレンチ 2 で検出した。詳細については第 67 表に掲載した。ピットの帰属時期は不明である。

②遺物

遺物はすべて遺構外からの出土である。詳細については第 121 図及び第 68 表に掲載した。

VI 浄禅寺跡遺跡第 46 地点

(1) 調査の概要

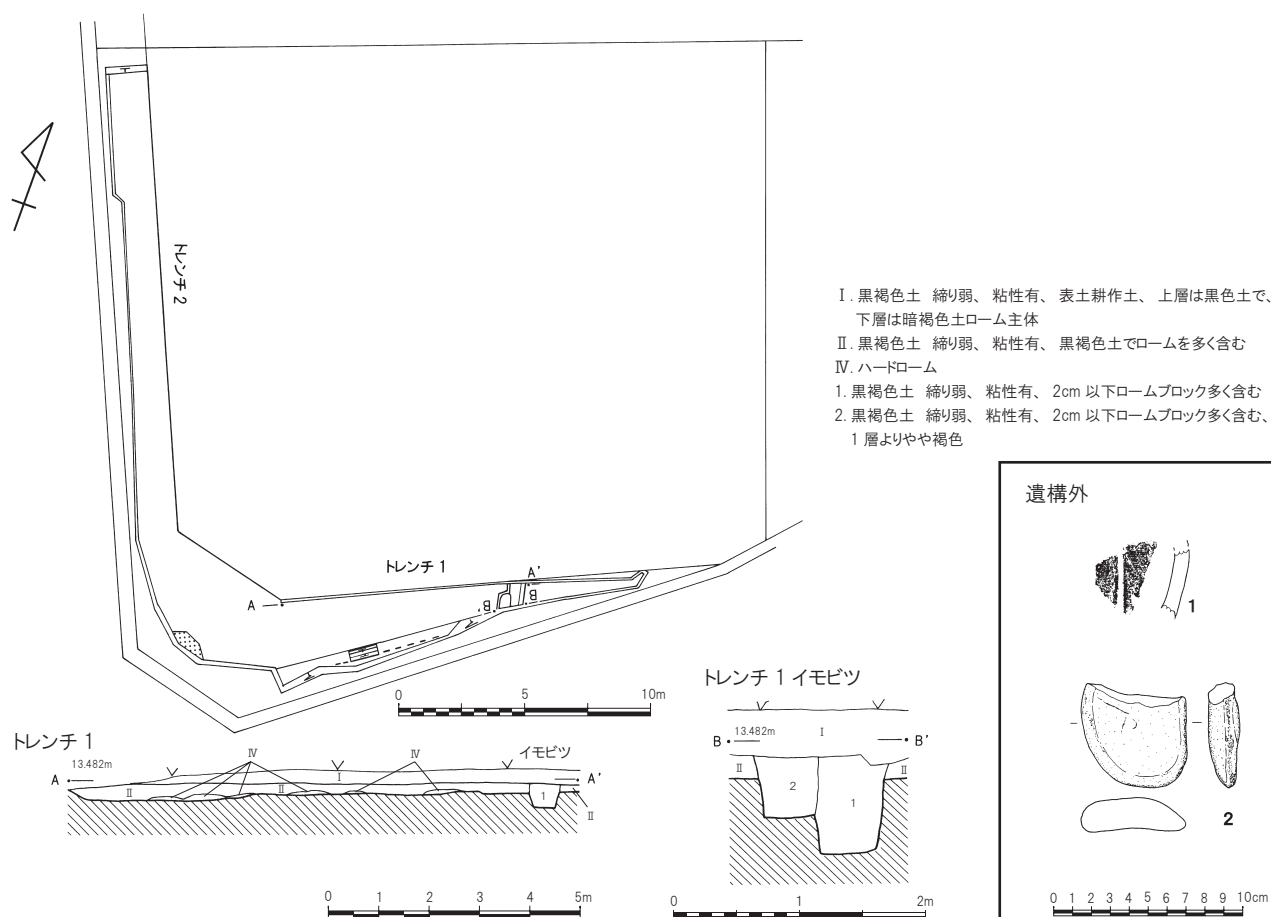
調査は道路拡幅工事に伴うもので、原因者より 2016 年 12 月 26 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2017 年 2 月 6 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は道路拡幅部分に合わせて重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 30 ～ 40cm である。

調査の結果、近世以降と考えられるイモビツと縄文土器片、石器を確認した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべて遺構外で出土した。1 は縄文土器深鉢の胴部である。縦位沈線が施され、胎土に砂礫を多く含む。中期か。2 は敲き石の一部と考えられる。砂岩製で残存する大きさは(5.3 × 5.4)cm、厚さ 1.7 cm、重さ 70.83g である。



第 122 図 浄禅寺跡遺跡第 46 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、イモビツ (1/60)、出土遺物 (1/4)



浄禅寺跡遺跡第 45 地点ピット 1



浄禅寺跡遺跡第 45 地点トレンチ 1

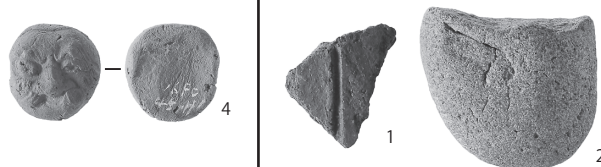


浄禅寺跡遺跡第 45 地点トレンチ 2

第 45 地点遺構外



第 46 地点遺構外



浄禅寺跡遺跡第 45・46 地点出土遺物



浄禅寺跡遺跡第 46 地点イモビツ



浄禅寺跡遺跡第 46 地点トレンチ 1



浄禅寺跡遺跡第 47 地点全景



浄禅寺跡遺跡第 47 地点全景